

情報漏えい防止に威力

経路管理システム開発

グローバル・アドバンス 人物・位置情報を利用

グローバル・アドバンス（東京都中央区、大野和人社長、03・5543・3682）は、研究施設などでの情報漏えいを防ぐため特定の人の位置情報を管理するシステムを開発した。システムは全地球測位システム（GPS）などの位置情報と人物情報を組み合わせた。あらかじめ許可登録されたカードを持つ者しか制限された場所に進入できない。カードに人ではなくパソコン情報を組み込めば、パソコンによるデータ流出防止にも活用できる。08年に実用化し、パッケージソフトとして発売する。

来年、パッケージで発売

開発したのは、位置情報と個人情報とを暗号化して組み込んだシステム。価格は70万円から。保持する非接触型ICカードに個人データを読み込ませ、位置情報と合致させる仕組み。

オフィスなどの出入りにカード読み取り装置（リーダー）を取り付けば、カード保持者の室内での経路や滞在時間をサーバが管理する。例え

ば社長室には許可されたカードを持つ役員以外は入れないようにすることが可能。病院や工場、研

究所、オフィスなどを管理する法人を対象に売り込む。パソコンにカードリー

ダーをつなぐと、カードに入った個人データと位置情報に反応。特定の個人が特定の場所でしかログインできないようにした。そのため端末を共用したり、パスワード偽造に対しても不正アクセスを防ぐことができる。

08年に製品化し、直販のほか、販売会社を通して発売する。将来は個人や中小企業向けにASP（ソフトウェアの期間貸し）による拡販も検討する。